

あそび〜キケン



ぶつかる

遊んでいるとつい周りの
が見えなくなるので、他
の子どもとぶつかったりす
ることもあります。
「じめんね」と言えること
が成長につながることも

ころぶ

子どもはよく転びます。
ひざを擦りむいたり、時に
は骨を折ったりすること
もあります。でも、小さな
頃からよく転んでいると、
大人になつてから大きな
怪我をしなくて済むかも
しれません。

道路へとびだす

夢中になっていると、ボールを追いかけて道路に
飛び出すということもあります。これは、命に関
わる重大な事故にもつながりかねません。日頃
からよく注意したり、車がよく通る場所から離
れて遊ぶことを心がける必要があります。

けんか

子どもにけんかは付き物。けんかを通して、
身体や心に痛みを覚えることで、たくましく
成長するということも考えられます。度を超
さないこと、絶対にやってはいけないことがあ
ることは教えてあげましょう。

不審者

不審者への対処法を学ぶ前の幼児のと
きは、特に気を付ける必要があります。
しかし、大人とのコミュニケーションは子
どもにとっても大切なこと。信頼出来る
ネットワーク作りを日頃から心がけま
しょう。

さて、まちに出て外遊びをしようと思うと、まち
の中にはたくさんの子ケケンが潜んでいることに気
づきます。でも、子どもが経験することで成長に
つながるキケンもあれば、重大な事故になりかね
ないキケンもあります。
重大な事故を未然に防ぎつつ、子どもがたくま
しく育つためにキケンとうまく付き合うことも
外遊びでは大切なことだといえます。ある程度
子どもが経験しても大丈夫なこと、絶対に避け
たいことを考えてみてください。いくつか例を挙
げてみました。

熱中症

夏場に気を付けたいのが熱中症です。気温や湿度が高い日に、外遊びに出かける時は、必ず帽子や水分を持ち、子どもだけで出かける際にも、こまめに水分をとるなど注意を促すことが必要です。

水の事故

川遊びや海での遊びは普段味わえない楽しい遊びができる反面、重大な水の事故につながる危険性があります。必ず大人と一緒に行動することが重要で、子どもだけのグループを見つけたら、その子どもにも目を向けて、声をかけることで事故を未然に防ぐことができます。

火遊び

花火やたき火等の火遊びも子どもの成長に不可欠な遊びといえるかもしれませんが、同時に小さいうちから火の怖さを教えておくこと、親が必ず付き添うことが重要です。消火用の水の準備も忘れないでね。

いかがでしょうか？

ここで紹介したこと以外にも、キケンはたくさんあります。重大な事故を未然に防ぎつつ、上手にキケンと付き合っていくことで、子どもはたくましく育って行くことでしょう。

COLUMN

「ドアを開けたら危険がいっぱい！」

長男が生まれた20年前、実家の大阪から離れ、子育てに奮闘し始めたとき、まだ、知り合いも少なく、まして我が子と同年代の友達もわからず、何ヶ月かは外に出ることはほとんどありませんでした。首も据わり体がしっかりし始め、抱っこしてコーポの駐車場や近くの空き地、時にはベビーカーでお買い物など、歩き始めるまでは遊び場の環境など、考えることはありませんでした。だんだんと伝い歩きが出来だし、手を引いて歩けるくらいになると、「公園デビュー」も間近かなと考えていました。一人で歩けるようになったとき、お散歩に行こうと準備していると、玄関の扉から勝手に外に出てしまい「あっ！」と思ったときには、駐車場の向こうの道路際まで行ってしました。それまでは特に自分の住んでいる場所や地形など気にしていませんでしたが、よくよく考えると、家の外には、溝があったり、階段や段差があったり、道路や線路もある。公園までの道のりは、子どもにとって危険地帯でした。

(おかやまブレーパークスタッフ)